

クトに関与された多くの皆様の支援によるものであり、誌上をお借りしてお礼を申しあげる。また、目くるめく熱帯の太陽の下での試験地造成や調査、夜を徹してのデータの整理等を通じてのタイスタッフと日本人専門家の信頼感の醸成がある。タイスタッフの森林と地域住民を思う熱意と、日本人専門家のタイの森林官を育成して森林の復活を実現しようとする熱意がこのプロジェクトを活気あるものとしたと考えられる。

今、サケラートではタイのスタッフのみで年間 200 ha を超す造林が続けられ、既に 2,500 ha の造林地がかつての荒涼とした草原に生れて順調に育っている。バンコクの中央造林研究訓練センターでは、プロジェクトの活動に参加した若手の気鋭の研究者達が活躍している。彼等、彼女等の活躍ぶりを見るとき、タイには必ずや豊かな森林がよみがえるものと信じることができる。

図書紹介

◎熱帯林業ハンドブック [PANCEL, Laslo (ed.): Tropical Forestry Handbook. Vol. 1 (1-810 pp.), Vol. 2 (811-1738 pp.), Springer-Verlag. 1993. 2巻セット ¥69,800]

800 ページもの単行書二冊からなる大作である。1 地形と土壌, 2 気候, 3 熱帯林の生態, 4 リモートセンシング, 5 森林調査, 6 遺伝的性質とその応用, 7 林木種子の取り扱い, 8 苗畑管理, 9 熱帯林樹木の無機養分, 10 樹種の選択, 11 森林造成, 12 熱帯天然林の育林, 13 立地評価と林地管理, 14 流域管理, 15 牧用草地管理, 16 アグロフォレストリー, 17 野生鳥獣の保全と管理, 18 病害, 19 火災, 20 熱帯地域における林道問題, 21 収穫, 22 特殊林産物, 23 林産物取り引きと市場, 24 作業管理と人間工学, 25 広報・教育, 26 森林経済, 27 林業プロジェクトと事業管理, 28 森林政策, という 28 の章で構成されており、それぞれの章を FAO や世界各地の大学や研究所などの現地研究や現場経験の豊富な著者が分担執筆している。表題通り幅広い分野を網羅的にカバーしている上に、章ごとに文献リストも用意されているので、参考書としても有用である。10 章目の樹種の選択の項では 152 種に及ぶ種の特性や分布, 生態, 成長量, 育成, 保護などが挙げられており、また、苗畑作業や伐倒、搬出のための機械力の利用についても最新かつ細心の適用技術が解説されている。熱帯地域で森林造成に携わる技術者や研究者には利用したい書であろう。(桜井尚武)